

東京都公民館連絡協議会

令和4年度 第4回 委員部会運営委員会(定例会)議事録 報告

日 時：令和4年 7月28日(木) 午後2時～

会 場：国分寺市本多公民館 2階 講座室

出席市：国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、昭島市、町田市、小金井市、小平市、日野市、事務局

報告事項

(1) 都公連役員会(7月20日)について

* 会費の問題

収入	加入全市から会費入金済	¥ 220,000.-	(一市 ¥ 20,000.- ずつ)
	東京都公民館連絡協議会から	¥ 300,000.-	
支出	全国公民館連絡協議会会費	¥ 176,000.-	払い込み済
	関東甲信越公民館連絡協議会会費	¥ 30,000.-	払い込み済

(2) 関東公民館連絡協議会 研究大会 (理事会は開かれていないが、決まった内容)

期 日：令和4年10月27日(水)・28日(木)予定 対面方式は中止

オンデマンドで令和4年10月27日から令和5年3月30日まで配信

テーマ：「だから公民館、やっぱり公民館、公民館の今を学び、

明日を見つけ、地域を作る」

分科会発表：伊藤先生がやる予定

* 東京開催の研究大会 (東京大会と開催地東京の2つある理由)

全国11ブロックあるので、11年に1回は全国の公民館運営審議会の研究大会が東京に回ってくる。関東甲信越は関東甲信越で回ってくる。大体、東京都の研究大会と関東ブロックの研究大会は一緒に兼ねて合同でやる。

協議事項

(1) 令和4年度東京都公民館連絡協議会第1回研修会(案)について

- * ポスター・チラシ ⇒ 承認

ポスターはA3カラー 各市数枚 チラシは白黒、各市で印刷・配布

- * テーマ：「コロナ禍における公運審の動きと見えてきた新しい公民館のあり方」

- * 内容：チラシ通り 変更なし

基調講演 (15分)

リレー発表 (10分×3 30分) 狛江市・国立市・東大和市

シンポジウム (30分) 国分寺市、狛江市、国立市、東大和市

(休憩)

グループワーク (45分) ・ グループワーク発表 (15分)

- * 役割分担 来月8月の委員部会で決定 (司会、受付、写真、記録等)
- * 参加者 各市4人程度 (申込書 9月22日までに事務局に提出)
- * 発表市は、発表者、資料(ゲラ)、使用機器等を8月末までに事務局にメールで通知
- * 研修会をホームページに掲載

(2) 東京都公民館連絡協議会研究大会 第4課題別研修について (企画委員会に報告)

- ・ 10月1日の都公連第1回研修会で課題として挙げたものをテーマとしたい
- ・ 公民館側や市民のグループ両者の頑張り・工夫はどうであったかも訴えたい

(3) 「公民館に関する調査」

- * 委員部会で取りまとめて管理し、10月1日付でホームページに掲載したい
- 各市は、10月1日の掲載までに新しいものを(変更部分)を事務局に通知する。
(割愛しても良い部分もあるのではないかと。検討・整理する必要ある)

東京都公民館連絡協議会

令和4年度 第5回 委員部会運営委員会(定例会)議事録 報告

日時：令和4年 8月25日(木) 午後2時～

会場：国分寺市本多公民館 2階 講座室

出席市：国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、昭島市、町田市、小金井市、小平市、日野市、事務局

報告事項

(1) 都公連企画委員会（7月29日）の報告…委員部会長より

- * 2月4日開催の都公連の研究大会のメインテーマ案
「2030年をみすえた公民館のすがた～コロナ禍を乗り越え進化する公民館～」
- * 8/26の企画委員会でさらに検討される予定。
- * 都公連のホームページに掲載される。
- * 開催形式は午前中を集合型の基調講演、午後を課題別研修
(場合によっては、午前中をリモートで行い、午後の課題別は各会場でも)
- * 課題別研修の内容については10月中旬には決めてほしいとのことだが、委員部会が行う10/1の研修の内容成果をふまえて、10/27の委員部会定例会で決定する

協議事項

(1) 令和4年度委員部会第1回研修会について

- * 役割分担 事務局で作成した役割分担表を承認
- * 記録をとり、ホームページに載せる

(2) 公民館調査の調査項目について

- * 新たに3「リモート環境について」4「バリアフリー環境」の項目を追加した一覧表を配布
- * 今後検討された項目を入れた表が各市各委員に送られ、基本情報としてデータを記入したものを、10/15までに計上する。

令和4年8月4日

東京都公民館連絡協議会

加盟公民館長 殿

東京都公民館連絡協議会委員部会

部会長 田中 英郎（国分寺市）

令和4年度東京都公民館連絡協議会第1回研修会の開催に伴う参加者募集の依頼及びチラシの配架について（依頼）

時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。日頃より、東京都公民館連絡協議会委員部会の活動にご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、当部会では下記日程で研修会を開催します。都公連加盟の各公民館におかれましては、公民館運営審議会委員をはじめ、公民館事業に関心をお持ちの市民に広く周知頂くとともに、参加申込みを取りまとめて頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 開催日程

- (1) 日 時 令和4年10月1日（土）午後1時30分～4時
- (2) 会 場 国分寺市立本多公民館 ホール
所在地 国分寺市本多1-7-1
- (3) テーマ 「コロナ禍における公運審の動きと見えてきた新しい公民館のあり方」
- (4) 内 容 各市からの発表、シンポジウム及びグループワーク

2 申込方法

定員は、各市4人程度（都公連委員部会委員及び当日登壇者を除く。）とし、各市公民館事務局で申込受付し、原則、9月22日（木）までに委員部会事務局に別紙添付ファイルでメールにて送付してください。

3 チラシの印刷並びに配布及び配架

添付ファイルのチラシデータ（白黒）を印刷して関係者に配布していただくともに、各公民館で配架してください。ポスターデータ（カラー）については事務局で印刷の上、次回の委員部会（8月25日）に委員部会員にお渡ししますが、各公民館で印刷の上掲示していただけると幸いです。

問い合わせ先・都公連委員部会事務局

国分寺市立もとまち公民館 久保

〒185-0022 国分寺市東元町2-3-13

電話 042-325-4221

E-mail motomati-kouminkan@city.kokubunji.tokyo.jp

コロナ禍における公運審の動きと 見えてきた新しい公民館のあり方



昨年2年ぶりに復活した本多公民館まつり

日時・会場

10月1日(土)

午後1時30分～4時

国分寺市立本多公民館

国分寺市本多1-7-1

基調発表

令和3年6月提出の答申を含む
公運審の取組

国分寺市

リレー発表

現在、答申を作成している公運審の取組

狛江市・国立市・東大和市

シンポジウム

狛江市・国立市・東大和市・国分寺市

ファシリテーター：倉持伸江さん
(東京学芸大学准教授)

グループワーク・発表

参加者同士で取組を話し合い、
交流します。

コロナ禍が始まって2年が経過しました。その間、多くの公民館が閉館したり、活動の制限を受けてきました。そのような状況下でも学びを継続させるために各市の公民館運営審議会は試行錯誤してきました。

「ウィズコロナ」社会における制限緩和の流れの中で見えてくる新しい公民館のあり方を探ります。

■対象：都公連加盟市公運審委員
公民館・社会教育関連施設利用者など

■定員：45人(各市4人程度)
※委員部会員除く

■申込：在住市の公民館及び
社会教育関連施設窓口へ

■問い合わせ
東京都公民館連絡協議会
委員部会事務局

国分寺市立もともち公民館 久保
TEL 042-325-4221

E-mail
motomati-Kouminkan@city.kokubunji.tokyo.jp



メール